

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名	し尿収集	シート番号				A 一般事務事業
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境業務	課 評価責任者(課長名)
						緒方

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	無
	2	事業開始年度	昭和 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例			
	4	関連計画	堺市生活排水処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画			
5	事業実施の経緯	し尿処理事業は、昭和24年から本格的に開始され、その後、昭和27年10月、「堺市し尿くみ取り手数料条例」が制定され、掃除義務者から手数料を徴収。昭和31年に公共施設のみ直営収集とし、それ以外の収集区域について、委託業者への割当てを実施。昭和47年4月近代化補償についての契約により、25業者の内7業者が廃業し、18業者となる。その後、平成17年の旧美原町との合併や業者の統廃合を経て11業者となった。さらに、平成28年に全委託業者の加入による堺市環境事業協同組合が設立され、し尿の収集運搬にあたっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民、市内事業者等(し尿くみ取り世帯及び事業者)			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	し尿の収集処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」という。)上、市町村に処理責任があることから、し尿を適正に収集処理することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を実現する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	一般家庭や事業所等から排出されるし尿について、概ね月2回の収集、建設現場等の仮設便所については、臨時的な収集を適宜行うことにより、し尿の処理を適正に行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				
		堺市環境事業協同組合				

Ⅲ. 投入量

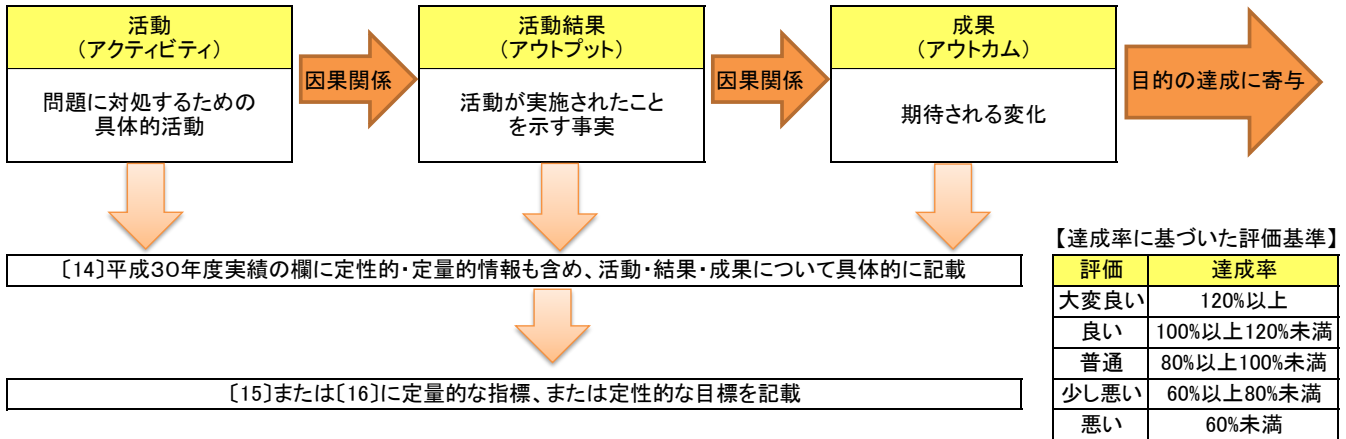
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	468,461	444,509	435,276	472,561	
主な事業費内訳	一般廃棄物(し尿)収集運搬関連業務	千円	451,278	428,199	411,264	429,535
	堺市し尿処理手数料収納等システム改修業務	千円			7,705	25,243
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	93,907	87,437	82,001	84,206
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	374,554	357,072	353,275	388,355	
12	人件費 (b)	千円	62,700	62,700	70,800	66,500
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	531,161	507,209	506,076	539,061

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	し尿収集	シート番号	10-32
-------	------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>平成30年度の1年間で、市民及び事業者より、継続的な収集(概ね月2回)は105件、臨時的な収集は4,805件の申込みを受理した。これらの新規申込みや従前からのし尿くみ取り世帯等において、市の管理の下、委託業者による適正なし尿収集が実施された。その結果、公共下水道の整備区域の拡大により収集量が減少傾向にある中、23,055KLのし尿収集が実施され、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与した。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	し尿収集量	KL	目標値	25,238	25,166	23,638	21,864
			実績値	25,939	24,607	23,055	
			達成率	103%	98%	98%	
			評価	良い	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		目標は、堺市一般廃棄物処理実施計画の計画値である。公共下水道の普及整備に伴い、収集量は減少する。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	手数料収入額(現年分)	円	目標値	98,903,360	91,732,820	85,628,580	83,350,260
			実績値	93,907,020	87,437,120	82,001,980	
達成率			95%	95%	96%		
評価			普通	普通	普通		
算出方法・設定根拠など		目標値は調定額である。令和元年度は、定額制の年度当初調定額と臨時・従量制の前年度調定実績額の合算額である。					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
<p>公共下水道の整備区域の拡大に伴い、し尿くみ取り処理世帯が減少したため収集量が減り、し尿処理に係る年間経費は年々下がっている。 また、催告や臨戸訪問の実施など適正な債権管理の推進により、現年度分の徴収率は前年度より上昇している。 (H25→93.5%、H26→94.1%、H27→95.0%、H28→95.0%、H29→95.3%、H30→95.7%)</p>	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。